

# 一般会計補正予算 (10月31日 臨時議会)

豚コレラのさらなる感染拡大を防ぐため、家畜伝染病予防法第6条に基づく予防的ワクチンを県内全域で段階的に摂取する経費に予算措置を講じるとともに、台風19号で被害を受けた中小企業等への支援に要する経費について補正予算を編成しました。(4,395万3千円)

## 埼玉の農家・中小企業を守る取り組み

今後も引き続き豚コレラの封じ込めは元より、風評被害対策など、埼玉農業を守るため全力で取り組んでいきます。

また、台風19号で被害を受けた中小企業支援対策として、融資限度枠を従来の5,000万円から1億円に引き上げるなどの臨時措置を行い、災害からの復旧支援に最大限取り組んでいきます。



## 「地方創生」実現に向けた調査視察

人口減少克服や地域活性化の為、さいたま市の取り組みを調査・視察。意見交換を行う事で今後の地元経済の活性化に役立てます。

また、職員の働き方改革の早期実現に向け民間企業(三菱地所)への視察を行い、県としての取り組みの参考としました。



■三菱地所(東京都)

## 企画財政委員会視察報告

### 名古屋鉄道(株)・名鉄バス(株) (名古屋市)

#### ■交通体系の整備について

自動運転バスの導入に向けて、官民学の連携によって行われた公道における実証実験の取組を視察。埼玉県でも将来的な地域公共交通を県民の皆様へ安定的に供給する上で、今後検討・実施していく必要のある内容であり、有意義な視察となりました。



### 愛知県立大学長久手キャンパス (長久手市)

#### ■県内中小企業の「IoT、AIの活用支援」

愛知県では、県内の産業育成のために、県が中心となり同大学で「IoT活用相談窓口」を設置しています。埼玉県においても県の重要施策である県内中小企業の「IoT、AIの活用支援」の早期実現に役立てるよう、内容を参考とさせていただきます。



# 県政報告

Vol.2

埼玉県議会議員

西五区

(ふじみ野市・三芳町)

わた なべ だい

# 渡辺 大

ふじみ野市・三芳町・埼玉県を抜群に魅力的に!!!

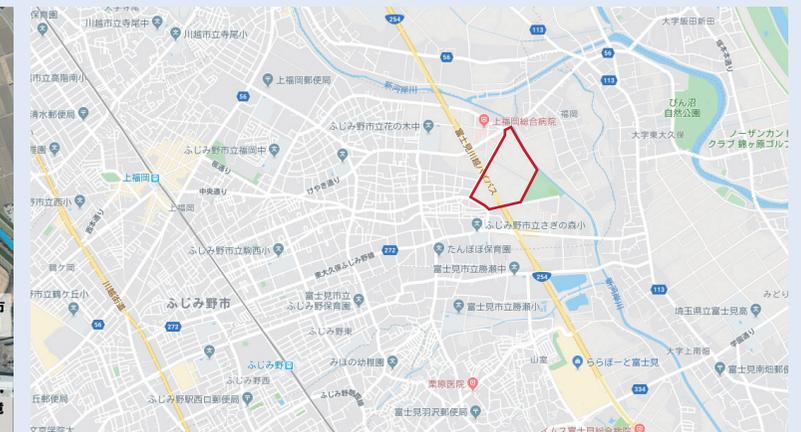
皆さん、こんにちは。

県議会は、何をしているのか。見えづらい、というお声をよく耳にします。そうした声に応えるべく、様々な媒体を通じて活動内容をお伝えしていきたいと思っております。

私の成長が、ふじみ野市、三芳町、埼玉県のためになるのだ。

最大速度で成長しろ! その期待を込めての選出だということを肝に銘じ、1分1秒を無駄にせず議員活動に取り組んでいきます!

## 国道254号バイパス ふじみ野地区が「産業誘導地区」に選ばれました



埼玉県では第3次田園都市産業ゾーン基本方針に基づき、市町村の産業基盤づくりを重点的に支援する地区を産業誘導地区に選定しています。この度、「国道254号バイパスふじみ野地区」が産業誘導地区に選定されました。これにより県の重点的なバックアップの元で、周辺の田園環境と調和した企業立地の開発・誘致を行うことが可能になります。

### 事業計画概要

地区名	国道254号バイパス ふじみ野地区
市町村名	ふじみ野市
適用地域	その他地域
開発面積	約17.8ha (市街化区域編入面積約18.0ha)
想定される土地利用	工業・流通
事業手法	土地区画整理事業(民間) 市街化区域編入
事業期間	令和2年度~令和6年度(予定)

発行  
埼玉県議会自由民主党議員団

埼玉県政に対するご意見やご要望などの声をお聞かせ下さい。最新情報はホームページより。

埼玉県議会議員

〒356-0035  
埼玉県ふじみ野市丸山2-18-102

TEL: 049-265-6250 FAX: 049-265-6251  
E-mail: office.daiwatanabe@gmail.com

# 渡辺大 県政事務所



# 一般質問報告

## 皆様の声を県政に！

県議会 9月定例会（9月30日・於：本会議場）において一般質問に登壇し、以下の8項目について質問・提言をさせていただきました。本号ではそのうち3つの概要をお伝えします。



県議会 9月定例会（9月30日・於：本会議場）

1. Society5.0（超スマート社会）への対応について
2. 離婚時の養育費の取決めの啓発、勧奨について
3. 家庭養育の推進について
4. 処遇改善について（介護職員・保育士）
5. 世界農業遺産の申請について
6. 豪雨災害に備えた治水対策について
7. 東武東上線の連続立体交差化（高架化）について
8. ふじみ野市内及び三芳町内の県道の安全対策について

## 01 豪雨災害に備えた治水対策について



■ふじみ野市の浸水被害

本年10月、日本全国を襲った台風19号において我が県は多方面で甚大な被害を被り、中でも河川の決壊及び氾濫は多くの家屋に被害（床上浸水2,241棟、床下浸水3,100棟）をもたらしました。

埼玉県として今後の豪雨災害に備えた治水対策にどのような施策をもって進めていくのか、県民の皆様の関心も非常に高いと思います。今回は9月定例会に於いての当該議題に関する私の質問をご紹介します。

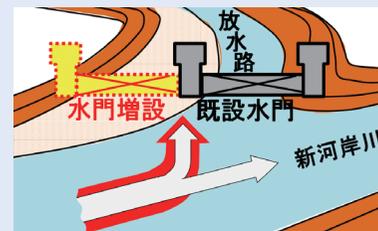
埼玉県は県土に占める河川面積が3.9%と日本一の県であり、水害から県民の生命、生活を守ることは、行政が果たすべき最優先課題である事を提言させて頂きました。特に県南西部の新河岸川流域や中川流域では低平地が広がり、水が溜まりやすくはけにくい地形であることから、「内水による浸水」被害額が約9割を占めるという特徴があります。

平成29年10月の台風21号において、ふじみ野市などで浸水被害が発生しましたが、これまでの県の対応を質問、その中で、上記被害を受け新河岸川に河川監視カメラを5箇所設置、堤防の拡幅整備を実施したことを確認しました。

同時に、ふじみ野市でも独自のポンプ車、移動式ポンプの購入など引き続き対策は取られていますが、今後の更なる豪雨災害対策として、地元施設である寺尾調節池の有効的な活用法を含めた、内水被害防止の取り組みを提言させて頂きました。

### 新河岸川流域の浸水被害軽減にむけて

現在、県で進めている渋井水門の増設工事の進捗について確認しました。この水門増設工事により新河岸川の水位上昇を抑え、内水を排水しやすくなります。工期としては、令和2年度末の完成を目指して進めているという事を質問・確認致しました。



■新河岸川整備イメージ（渋井水門）

## 02 介護職員・保育士の処遇改善

埼玉県は、今後、75歳以上の後期高齢者人口が全国一のスピードで増加することが見込まれています。一方で、こうした高齢者に対する重要な役割を持つ「介護職員」の処遇対応は依然十分であるとは言えず、実際に介護職員のなり手は今後も不足することが予想されます。県民の皆様の安心できる老後生活のため、埼玉県としての施策・対策を質問致しました。県からの回答としては、

- 1、本年10月から介護職員の処遇改善の為に給与加算制度が導入される事
- 2、介護職員の負担軽減の為に介護ロボットの導入を進めている事
- 3、介護職員の採用・育成に積極的な事業者向けの認証制度を実施している事などを確認致しました。

また、次世代の社会を担う子ども達を育てやすくする社会の実現の重要性を訴え、保育士の処遇改善に関して、県としての所見を尋ねました。県独自の対応としては、

- 1、新卒保育士向けの就職準備金貸付制度
- 2、保育士宿舍借上補助予算の増額等の回答を得ました。引き続き、県主導の元で、保育士が働きやすく休みやすい労働環境のモデル的なしくみの構築への提言を行いました。



■介護ロボットの導入



■保育士の働き方改革を進めています

## 03 離婚時の養育費の取決めについて

母子家庭の貧困率は、54.6%です。（2016年）埼玉県の離婚件数は、平成29年で約1万2,000件であり、そのうち半数以上の6,700件において、養育すべき子どもがいます。一方で、平成28年の厚労省の統計によると、離婚時に養育費を書面にて取決めしている人は、全体の31%に過ぎず、結果として子どもが、親の離婚をきっかけとして、半ば強制的に貧困状態に陥るケースが見受けられます。

県としてもこれらの対応として、「子どもの養育に関する合意書作成の手引とQ&A」リーフレットの活用や、埼玉県公式アプリ「まいたま」上での啓発推進する旨の回答を得ました。

### ■埼玉県公式スマホアプリ「まいたま」



「パパ・ママ応援ショップ優待」も使えます！